

## 第65回全国高等学校PTA連合会大会岩手大会報告

嚶鳴PTA会長 大沼 幹雄

「未来圏からの風をつかめ！」をメインテーマに、そして～新時代を担う君たちと共に～をサブテーマに、第65回全国高等学校PTA連合会岩手大会が、8月19日～21日滝沢市の岩手産業文化センターを主会場とし、他7会場において、参加者約1万人が集い開催されました。本校からは吉田校長、細谷総務課長、星川副会長、沼澤副会長と私の5名で参加して参りました。



連合会会長の佐野元彦氏のご挨拶では、郷土の偉大な文学者宮沢賢治の描いた独特の世界観、人生観、自然観を披露され、賢治の自作詩「生徒諸君に寄せる」にある大会テーマにおける「未来圏」の解説をしていただきました。

来賓祝辞では3年連続ご出席の下村博文文部科学大臣より20分にわたる丁寧な祝辞をいただき、教育に対する思い入れを感じることができました。

基調講演は、地元盛岡市出身、芝浦工業大学学長村上雅人氏の「夢高くして足地にあり／The sky is the limit」でした。村上先生の専門は超伝導工学。高校時代、米国に1年間留学。多様な価値観を共有するユーモアの大切さを体験し、海外へ行く事の大切さを実感されたそうです。先生のお話の中で、「良い教師との出会いがその人の人生を決めることも多い。」との言葉が印象に残りました。「夢高くして」の言葉は旺文社の赤尾好夫氏の言葉であり、「The sky is the limit」は「あなたの可能性は宇宙に続く空のように無限である。」という意味だそうです。

午後からは、学校教育とPTAがテーマの第1分科会に参加。代表4校の発表があり、岩手大学教育学部長の助言をいただきました。

翌日の記念講演はこちらも盛岡市ご出身の映画監督、大友啓史氏の「アドリブを生きる」でした。監督の作品の中で、私個人では、NHK土曜ドラマ「ハゲタカ」(09年)が非常に印象に残っています。

被災地岩手県はまだ復興の途上にあります。未曾有の大災害を経験したことを後世に残さなければいけません。災害に対する子ども達の安全確保、子ども達自身が危険を予測し回避する力を身につける事ができるよう指導していく事が喫緊の課題であり、防災教育の展開も重要である事を確認してまいりました。

以上、ご報告といたします。